



株式会社 京葉興業 戸塚工場

〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2160  
Tel 045-813-4466 Fax 045-813-6698



<https://www.keiyokogyo.co.jp/>



# 戸塚工場

廃水処理施設

WASTE WATER  
TREATMENT PLANT



株式会社

京葉興業



# 集積された確かな技術と安定的システムで有機性廃水を効率的に処理し、循環型社会へ貢献します。

京葉興業グループが取り組む事業は、社会インフラを維持するために欠かせない事業であり、昨今では産業活動の多様化・高度化などで、環境問題が地球規模で広がりを見せています。当グループでは、「快適な環境と自然との共生」をスローガンに、資源循環及び適正処理の担い手としての自覚と責任を持ち、環境負荷の低減と循環型社会への貢献に努め、地域社会ならびに顧客から「任せて安心」と信頼され、必要とされる「100年企業」を目指しております。

戸塚工場では、食品製造業や外食産業および学校給食施設などから排出される有機性廃棄物を環境へ戻すため、脱水処理・生物処理などの集積された確かな技術で循環型社会へ貢献してまいります。また東京都江東区にある弊社処理施設「廃水処理プラント」と連携し適正処理及びサービス向上を強化し、顧客信頼の向上に努めてまいります。

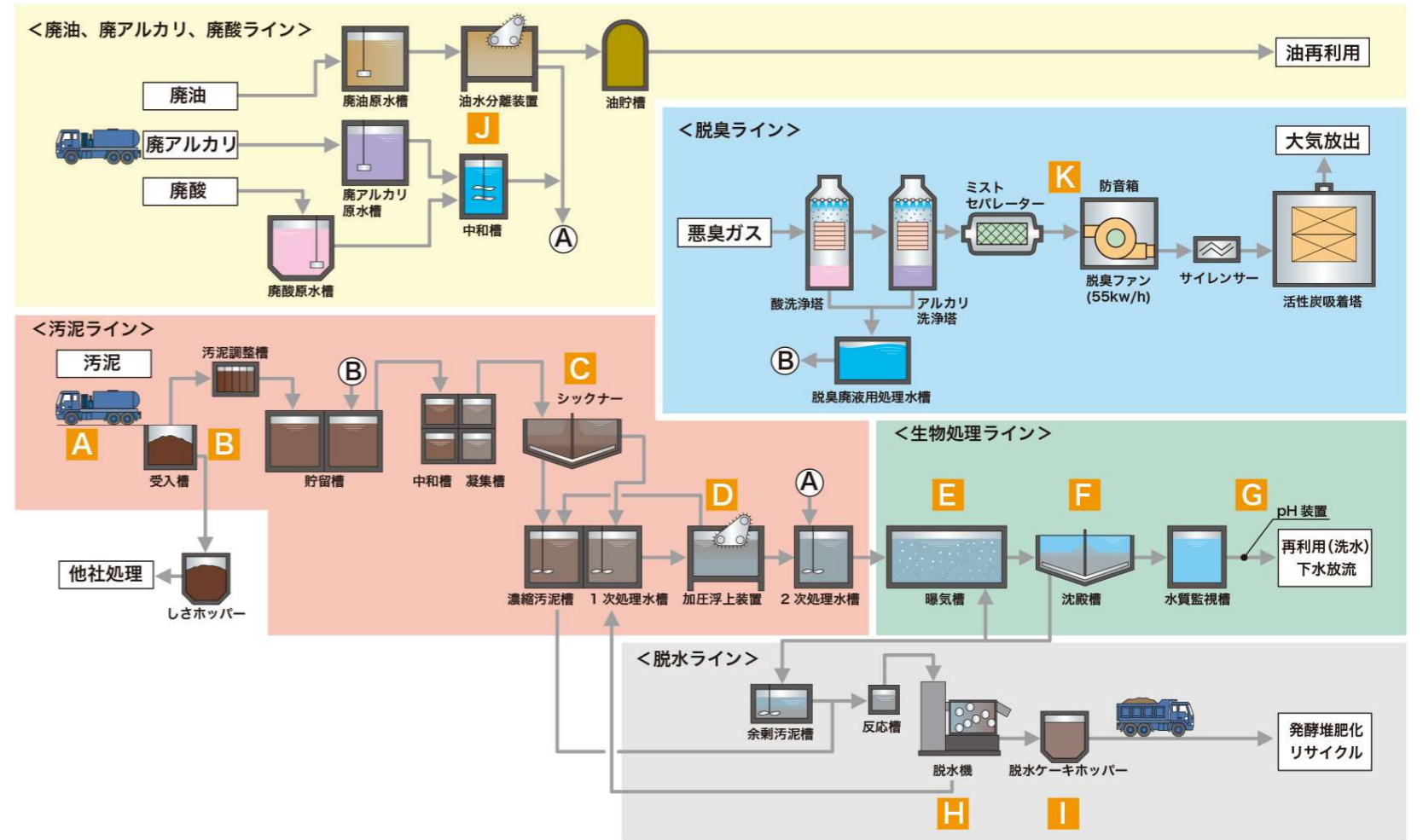
## 施設概要

所在地：神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2160  
敷地面積：2,663.38㎡  
建築面積：836.00㎡  
受入品目：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ  
処理能力：

脱水設備 (2基)	64.2㎡/日
油水分離設備 (1基)	28.0㎡/日
中和設備 (1基)	57.6㎡/日

- 取り扱い廃棄物：
- 汚泥
    - ・ファミリーレストラン及びファーストフード等からのグリストラップ汚泥
    - ・ビルビット汚泥(雑排水槽等)
    - ・食品製造業等の排水処理施設からの雑排汚泥及び余剰汚泥
    - ・厨房排水または雑排水
    - ・その他食品系有機汚泥全般
  - 廃油
    - ・動植物性含油水
  - 廃酸
    - ・低濃度清涼飲料水類等
  - 廃アルカリ
    - ・各種フード及びダクト洗浄廃液

## 施設処理フロー



**A** トラックスケール

搬入された有機性廃棄物(廃水)は台貫計量し、正確な搬入量を把握します。



**A** 受入槽

廃水の性状により、受入系統を4通り分け、貯留します。



**B** しさ処理室

受入れた廃水には、様々な夾雑物(ゴミ)が含まれているため、スクリーンで取り除きます。



**C** シックナー

廃水に含まれる固形分を沈降濃縮させる装置です。



**D** 加圧浮上装置

廃水の浮遊微粒子を微細な泡(空気)を使用し、浮上させて取り除く設備です。



**E** 曝気槽(活性汚泥処理)

好気性微生物により有機成分を分解し、排水中の水質を浄化します。



**F** 沈殿槽

活性汚泥処理(生物処理)後の排水を沈降分離させ、上澄み(処理水)と余剰汚泥に分けます。



**G** 水質監視槽/放流槽

生物処理後の処理水は水質監視槽や放流槽でpHなど常時水質をチェックし、適正な処理が行われているか確認します。浄化された処理水は工場内で再利用され、余剰分は下水道に放流します。



**H** 脱水機

濃縮汚泥槽・余剰汚泥槽から移送された汚泥は多重円板型脱水機で脱水され、脱水ケーキとろ液に分けられます。ろ液は曝気槽で生物処理されていきます。



**I** 脱水ケーキホッパー

脱水ケーキは、ホッパーに保管され、堆肥原料として自社施設(発酵堆肥化施設)に運搬され堆肥になります。自然環境へ還元します。



**J** 中和設備/油水分離装置

受入した廃酸・廃アルカリの廃液は、薬剤で中和処理を行い、設定pHにした後、排水処理工程へ移送します。廃油ラインでは、油水分離装置で油分と水分を分離し、油は再利用されます。



**K** 脱臭装置

工場内の全エリアで臭気を吸引し、酸・アルカリ洗浄を行い、活性炭吸着処理を経て大気へ放出しています。